

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	パパママハウスcare room		
○保護者評価実施期間	2025年1月15日		～ 2025年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2025年1月15日		～ 2025年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容、行事等の充実	会議や日々の申し送りの際に、活動容についてスタッフ間で意見を出し合い、活動内容が固定化しないよう内容を把握することで、活動内容が固定化しないようにしている。 行事も季節に応じて実施するなど、充実するように心掛けている。	ご利用者様それぞれのニーズをさらに把握して、ニーズに応じた活動を行う必要がある。
2	安心して過ごすことができる環境	車いすの置き場等を別に設置する、床暖房を設置するなど、ご利用者様が安心して過ごすことができる環境を有している。スペースも定員と比較して広い。 スタッフも看護職員が常勤含め複数名で配置されている。	環境面だけでなく、支援面についても安心してご利用いただけるように、スタッフ間で情報共有をこまめに実施していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との関わり	地域との関わりが希薄であるが、ご利用者様よりその必要性を感じないとの意見もある。ボランティアの方々にご協力をいただいた際は、その活動の際に近隣住人の方にも声をかけているが、学校や保育園等近くにあるがあまり関わりを持っていない。	今後、保護者様にその必要性を確認するなどし、地域のイベントや学校行事、保育園への協力など事業所として行う。
2	保護者様同士の関わり	保護者会を通して事業所についてのご意見を頂戴したりご家族間の交流を図りたいが、毎年保護者会を実施しているものの年々参加者が減少している。必要性を感じておられないこともある。	積極的な参加を行っていただけるよう保護者会への参加を促すとともに、個別面談も随時実施し事業所運営に取り入れる。
3			